

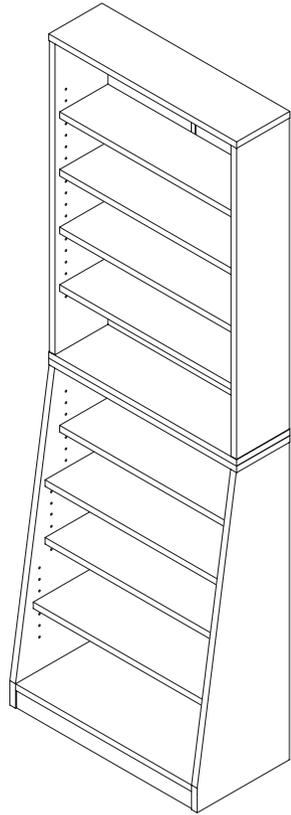
組立説明書

大容量ホームシェルフ W60(12021・12023・12025)

この度は、当社の商品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
万一不備な点がございましたら、ご購入店にご連絡ください。
※組立後の返品、傷によるクレームはお受けできませんのでご注意ください。

○部材・部品がすべて揃っているか確認しましょう。
はじめに ○番号を確認し、説明書に沿って組み立てましょう。
○ネジ・ビス等は最後にきっちり締めてください。

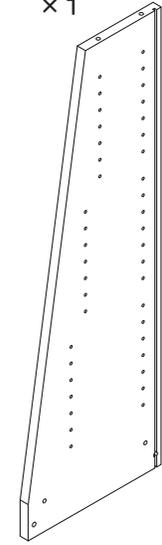
完成図



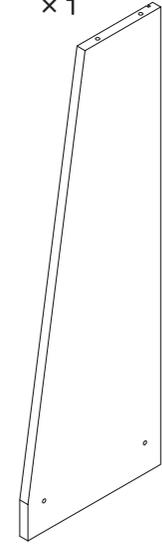
- 組立前にドライバーをご用意ください。
- 床や商品にキズがつかないように、やわらかい布等を敷いて作業を始めてください。
- 木槌、ゴムハンマーなどを使用する場合はあて板などをあてがい、商品にキズがつかないように、その上からたたってください。
- 2人以上で組み立てることをお勧めします。

■ 組立部材 ■

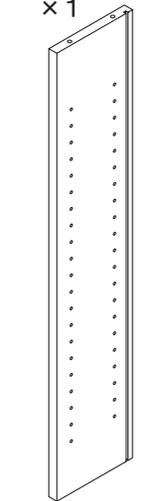
①左側板(下)
×1



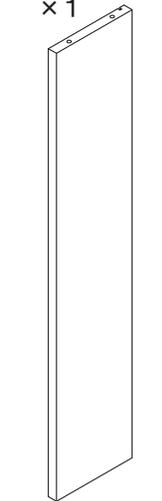
②右側板(下)
×1



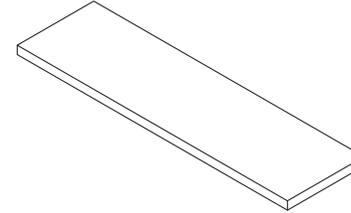
③左側板(上)
×1



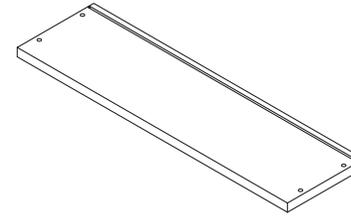
④右側板(上)
×1



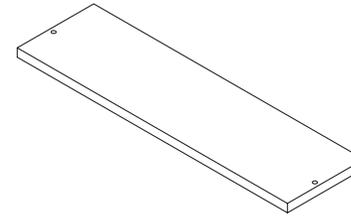
⑤天板(上) × 1



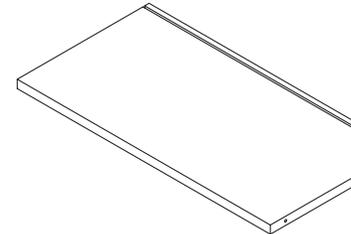
⑥地板(上) × 1



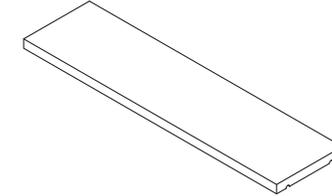
⑦天板(下) × 1



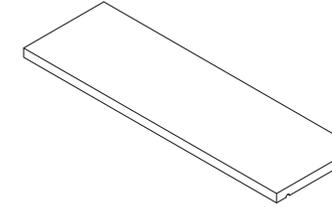
⑧地板(下) × 1



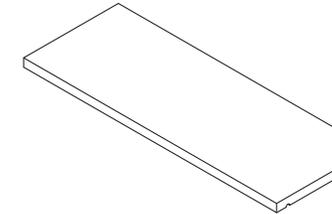
⑨可動棚(小) × 5



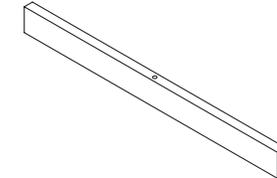
⑩可動棚(中) × 2



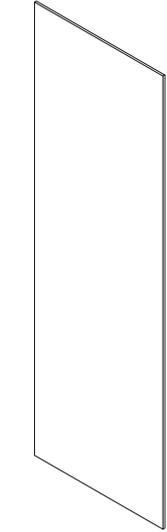
⑪可動棚(大) × 1



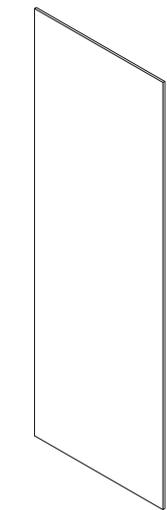
⑫前後板 × 2



⑬背板(上) × 2



⑭背板(下) × 2

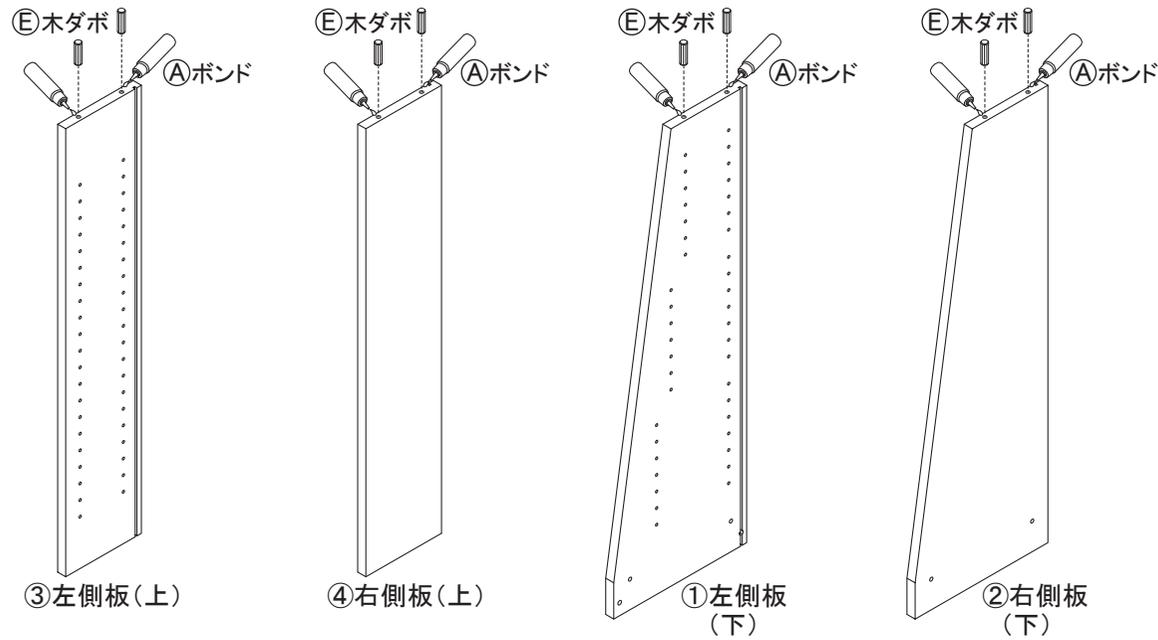


■ 組立部品 ■

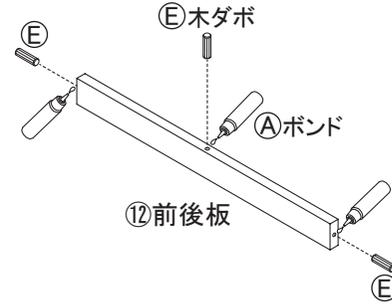
①	ボンド × 1	②	横揺防止部品 × 16 (+予備2)	③	横揺防止部品取付ネジ × 16 (+予備2)	④	ビスかくしシール × 4	⑤	木ダボ × 16 (+予備2)	⑥	キャップ × 2	⑦	組立ネジ × 8 (+予備1)	⑧	棚ダボ × 32 (+予備2)
⑨	連結部品 × 2	⑩	連結部品取付ネジ × 4	⑪	転倒防止部品 × 1	⑫	転倒防止部品取付ネジ × 1 【本体側】	⑬	転倒防止部品取付ネジ × 1 【壁側】	⑭	ジョイナー(長) × 1	⑮	ジョイナー(短) × 1		

下準備 ※木ダボの先が約1cm程度出るようにしっかり差し込んでください。

左右側板(上)、左右側板(下)に、木ダボを取り付けます。

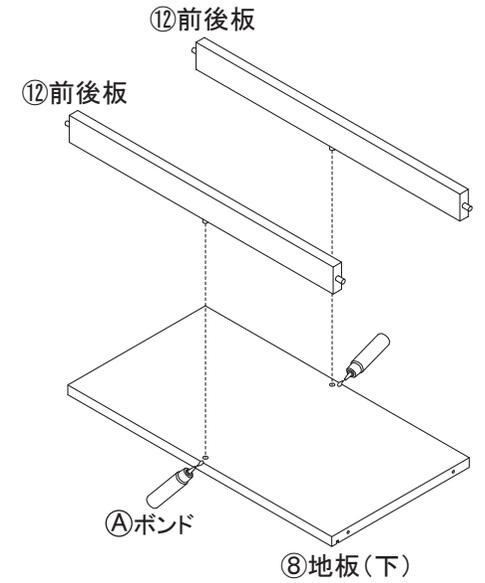


前後板に、木ダボを取り付けます。



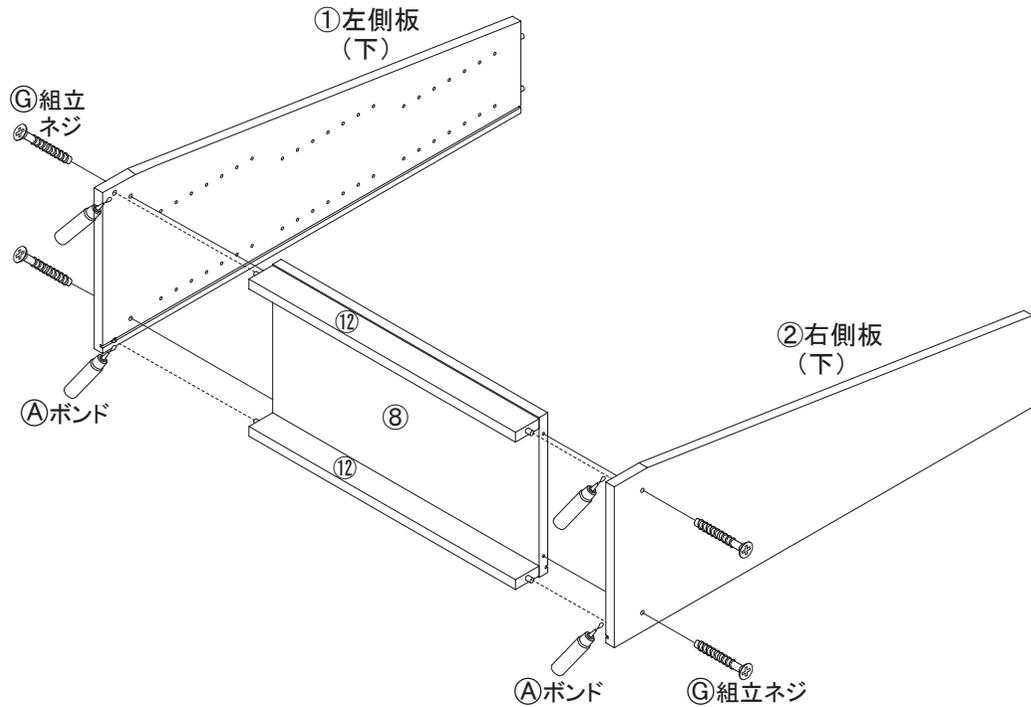
※2組取り付けます

工程 1 地板(下)に、前後板を取り付けます。
(下段)

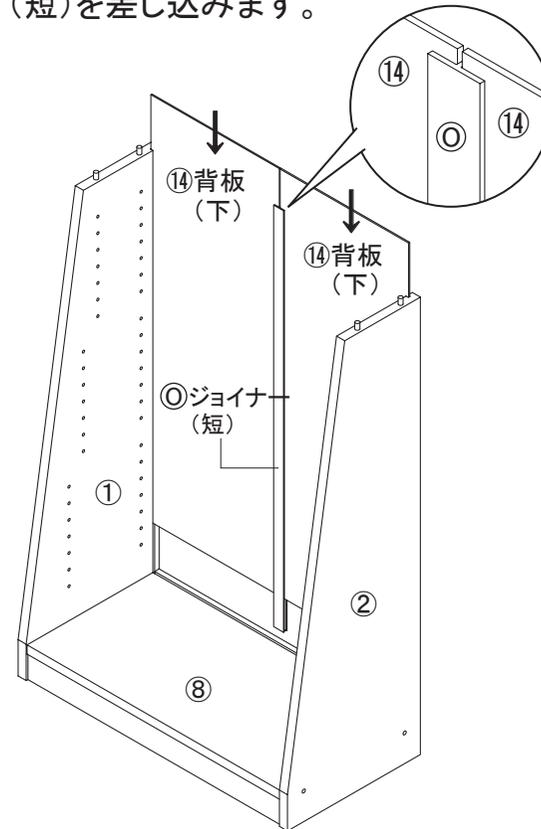


工程 2 左右側板(下)を取り付けます。
(下段)

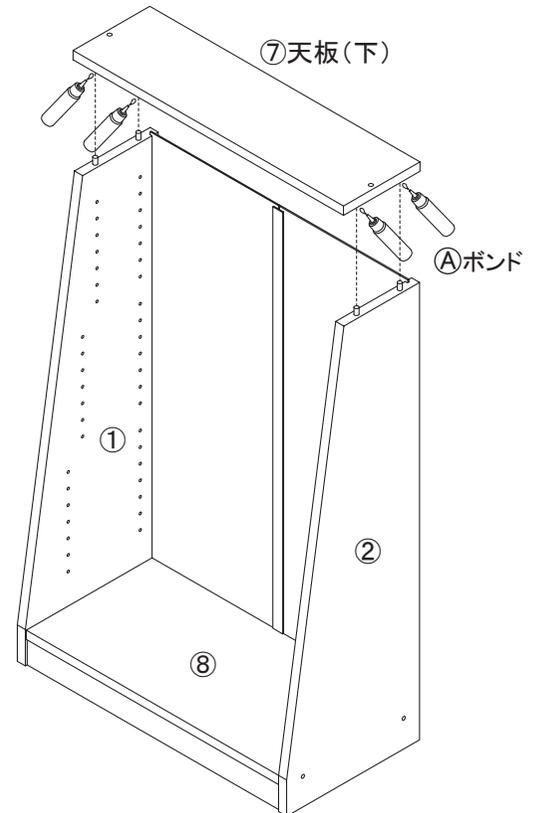
※各部材のミゾを下側にしてください。



工程 3 ミゾに沿って、背板(下)・ジョイナー(短)を差し込みます。
(下段)

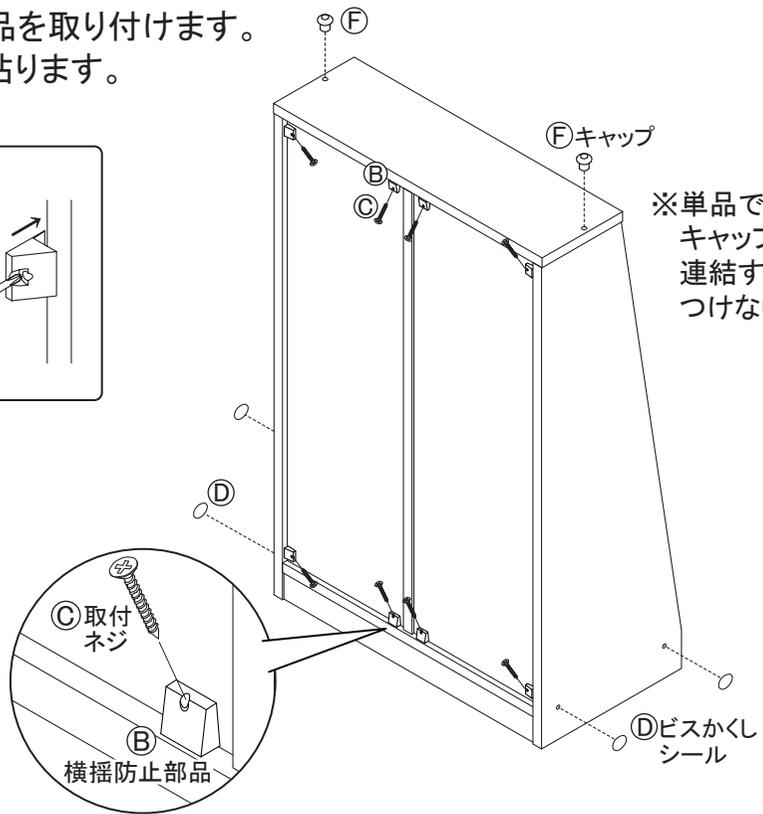


工程 4 天板(下)を取り付けます。
(下段)



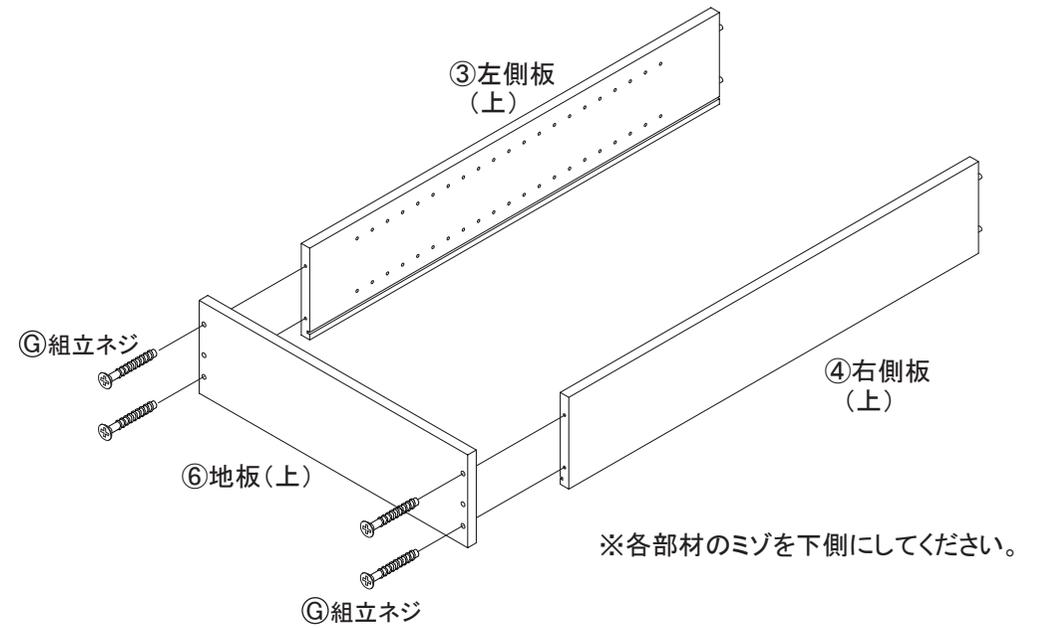
工程 5 背面に横揺防止部品を取り付けます。
(下段) ビスカくしシールを貼ります。

横揺防止部品は、背板と他の部材(天板・地板・側板など)の間に取り付けます。差し込みにくい場合はドライバーなどで押し込んでください。



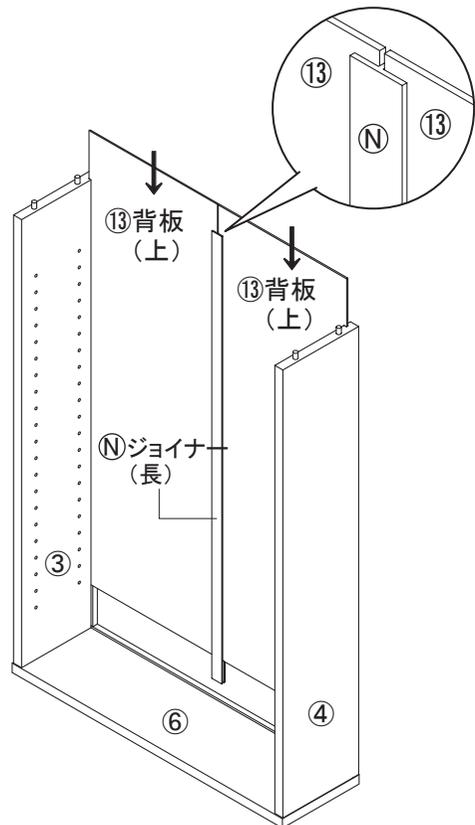
※単品で使う場合は、天板にキャップを取り付けてください。連結する場合は、キャップをつけないでください。

工程 6 地板(上)に、左右側板(上)を取り付けます。
(上段)

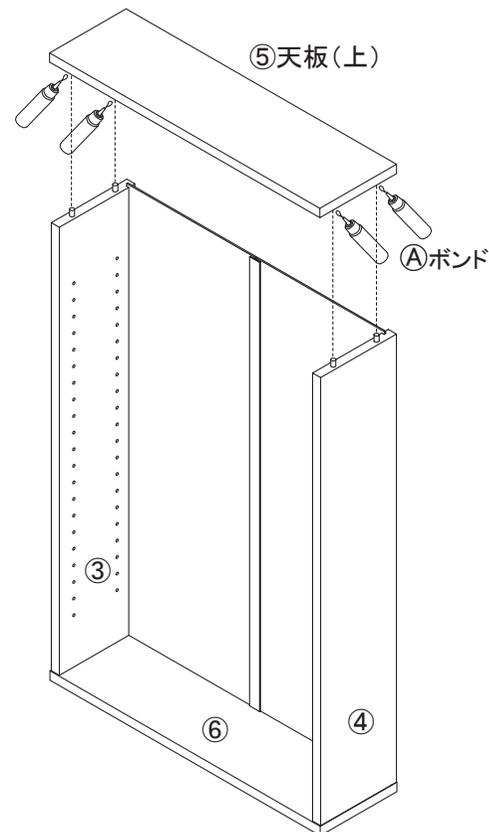


※各部材のミゾを下側にしてください。

工程 7 ミゾに沿って、背板(上)・ジョイナー(長)を差し込みます。
(上段)

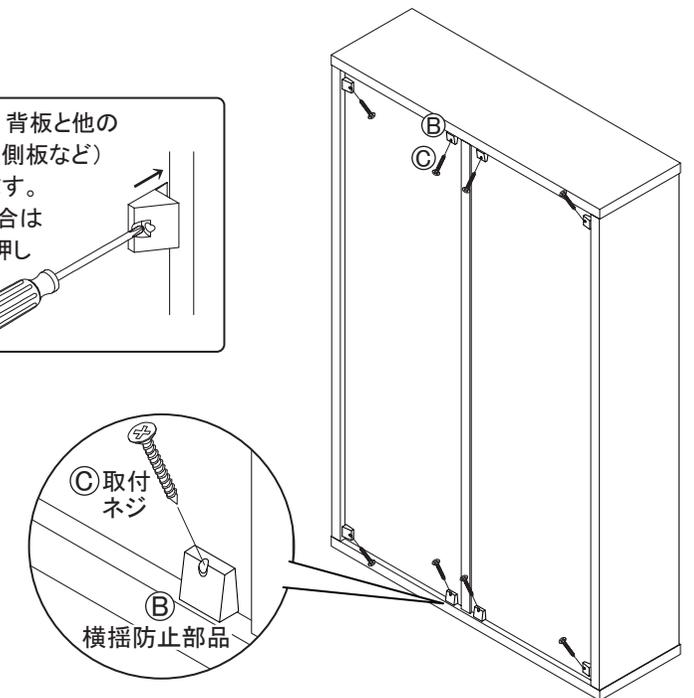
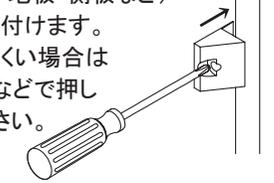


工程 8 天板(上)を取り付けます。
(上段)



工程 9 背面に横揺防止部品を取り付けます。
(上段)

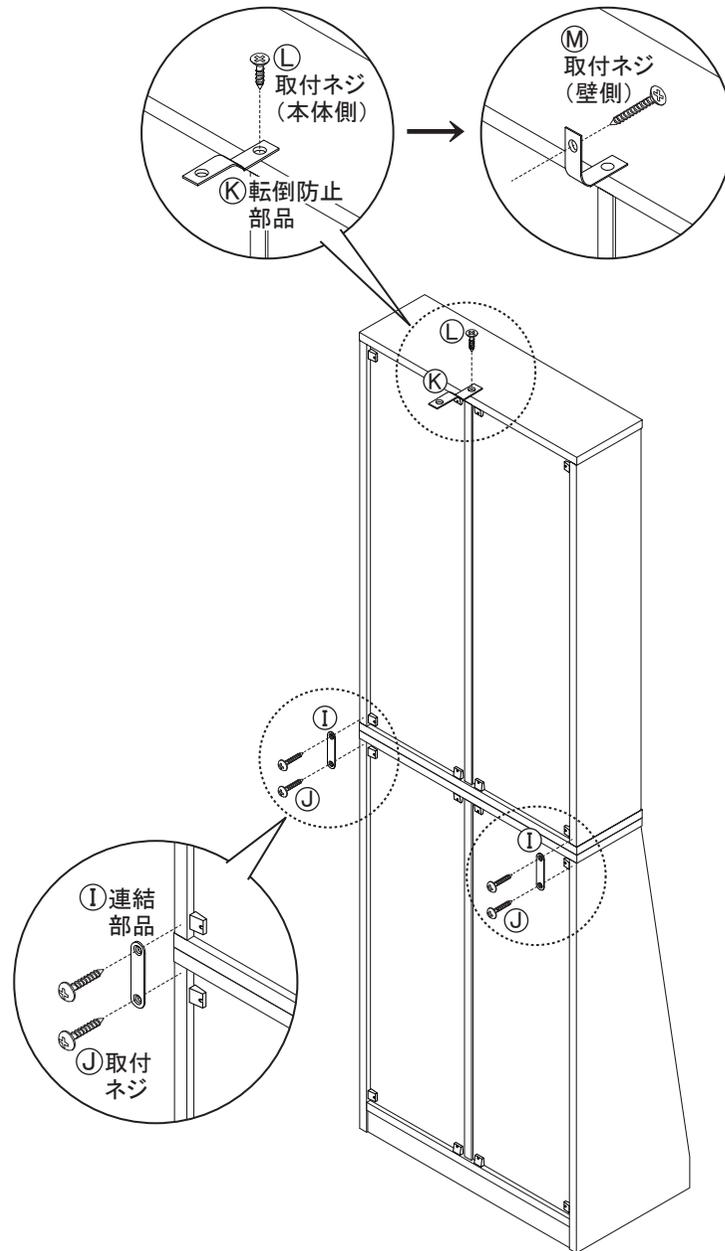
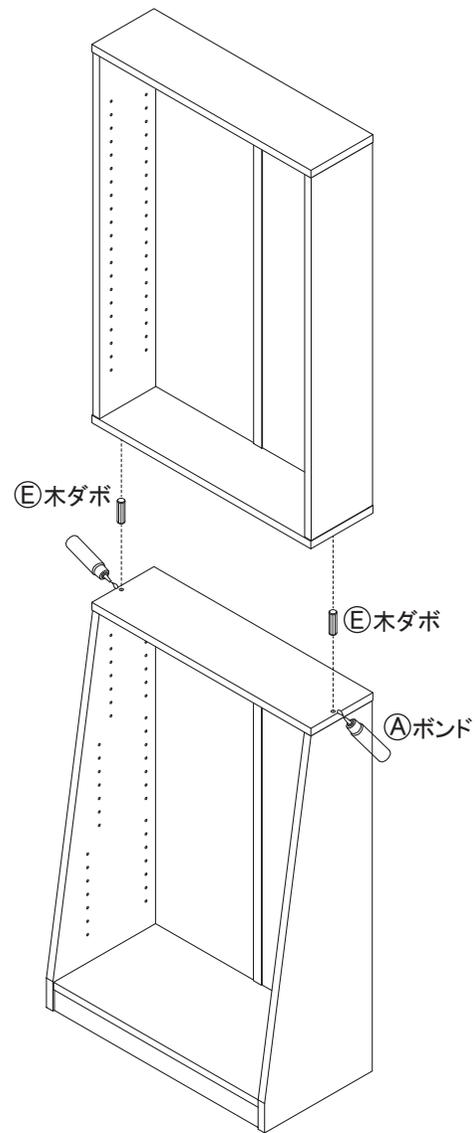
横揺防止部品は、背板と他の部材(天板・地板・側板など)の間に取り付けます。差し込みにくい場合はドライバーなどで押し込んでください。



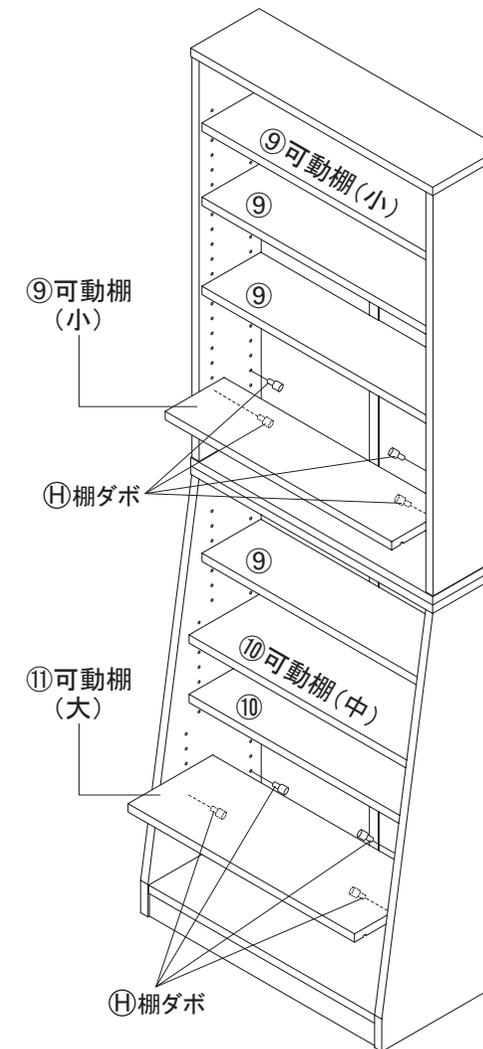
ボンドが乾き接着するのに約12時間必要です。それまで商品の移動等にはご注意ください。

工程 10 【下段組立品】と、【上段組立品】を連結します。

1. 『下段』天板に「木ダボ」を差し込みます。「木ダボ」に『上段』地板の穴を合わせながら、『上段』をのせます。
2. 背面に、連結部品を取り付けます。転倒防止部品を取り付け、壁に固定します。



工程 11 お好みの位置に棚ダボを差し込み、可動棚をセットします。



以上で完成です。

寸法 幅600×奥行295×高さ1800mm

表面材 プリント紙化粧繊維板

生産国 マレーシア

取扱上の注意

- ・据え付けに際しては、湿気の多い所を避け、商品を水平に保つために必要な措置を講じること。
- ・直射日光にあてたり、セロテープを長時間はることを避けること。
- ・著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用すること。

表示者 株式会社クロシオ
和歌山県海南市椋木119-2

万一、商品に不備や不都合な点がありましたら、下記のフリーダイヤルにお電話ください。

☎0120-38-9640

輸入発売元:株式会社クロシオ 受付時間:午前 9:00~午後 5:00 (土曜、日曜、祝日は休みになります。)

大容量ホームシェルフW60 (12021・12023・12025)



安全上のご注意

安全にご使用頂くため、この「安全上のご注意」とその他の説明書がある場合は、これも併せてよく読み、正しくご使用下さい。また、これらを保管し必要な時にお読みください。
塗料・接着剤等の臭いがこもっている場合がありますので、梱包を開けて作業する際は通気を良くして下さい。

組立時の注意事項

- 組立をする際には、ある程度スペースがあり、床に布やカーペットのあるところで商品や床、既存の家具等に傷が入らないよう注意して組立をして下さい。又、ダボの位置を垂直に叩いて下さい。
- 各部材をマニュアルに記載されているように正しい取り付け場所に取り付けて下さい。またその際に部材の表面、裏面を間違えずに取り付けて下さい。
- 組立時にはネジにあったドライバーを用意してご使用下さい。ネジ山のサイズに合わないドライバーを使用されるとネジ山をつぶしてしまう可能性があります。
- ネジの締め付けについて、あまりにきつく締めると、板割れ、あるいはネジが板にめり込む等の問題が起きますので、ご注意下さい。
- 電動式ドライバーは使用しないで下さい。
- ※ 組立がうまくいかない、あるいは組立方法がわからない、マニュアルに記載の部材や部品が梱包されているものと異なるなど、商品に対してのお問い合わせ、ご質問は、ご購入された販売店までご連絡下さい。

取扱い上の注意

- 加熱した鍋、湯沸かし等を直接置かないで下さい。加熱により、変形、変色の原因になります。
- 天板、棚には平均に物を置き、また、あまりに重いものは置かないで下さい。破損の原因になります。
- 移動の時は一ヶ所に重心をかけずに平均的に力をかけて下さい。倒れてケガの原因になります。
- キャスター付の場合は、その上に立ったり、座ったまま激しく動かし、押しあそんだりしないで下さい。
- 商品は引きずらないで下さい。フローリング等の床面を傷つけてしまう原因になります。
- 踏台には、使用しないで下さい。破損したり、壊れたりしてケガの原因になります。
- 高温、多湿の部屋では、空気が滞留するとカビやダニが発生しやすくなります。家具の裏側も空気が流れるように壁から少し離したり(10cm位が望ましい)、部屋の換気をして下さい。
- 直射日光、ストーブ等の熱、冷暖房器の強風などが直接あたらないところで使用したり、取付けたりして下さい。過熱により火災、変形、変色の原因になります。
- セロテープを貼ることは避けて下さい。
- 平らな場所に商品を置いて下さい。家具が壊れたりケガの原因になります。
- 引出しがついている場合、いっぱいに出すとぬけ落ちて破損したりしてケガの原因になります。
- ハンガー付の場合にはぶら下がったりしないで下さい。破損したり、倒れたり、落ちたりしてケガの原因になります。
- ガラス、鏡のついている商品は衝撃をあたえないで下さい。ガラス、鏡の破損の原因にもなります。
- 著しい汚れを落とす際には、薄めた中性洗剤を使用して下さい。

電源付家具の場合

- ◆家具に取り付けて使用するコンセントは電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないで下さい。火災、感電の原因になります。
- ◆家具に取り付けて使用するコンセントの使用限度は製品ごとに定められています。使用する家電製品の定格消費電力のワット(W)の合計が製品並びに取扱説明書に表示されたワット(W)数以下となることを確かめてから使用して下さい。また、家電製品のワット(W)の表示で定格消費電力以外のワット(W)表示のもの<例えばルームエアコンの場合、冷暖能力のワット(W)・掃除機の場合、吸い込み仕事率のワット(W)>がありますので使用する家電製品の定格消費電力のワット(W)数を確かめてから使用して下さい。火災、感電の原因になります。
- ◆コンセントはぬれた手で抜き差しをしないで下さい。感電のおそれがあります。
- ◆電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないで下さい。コードが傷つき火災、感電の原因になります。
- ◆差し込みのプラグを抜くときは必ずプラグをもってぬいて下さい。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災、感電の原因になります。

組立のポイント

組立が苦手・不安な方へ・・・組立前のワンポイント！！

ポイント1

まず、組立図を最後まで読んでみてください。



出来上がり商品をイメージして組立手順に目を通しておくと組立作業がスムーズです。

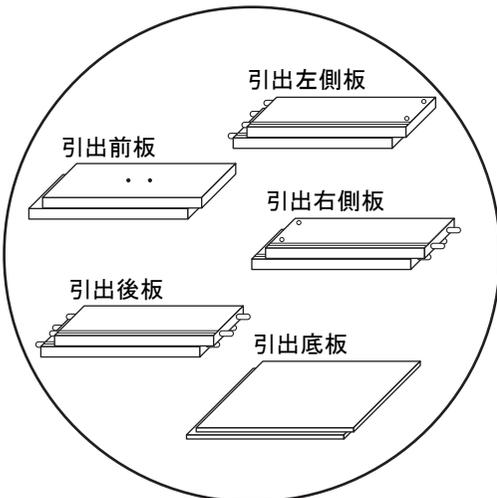
ポイント2

部材を確認、分けてください。

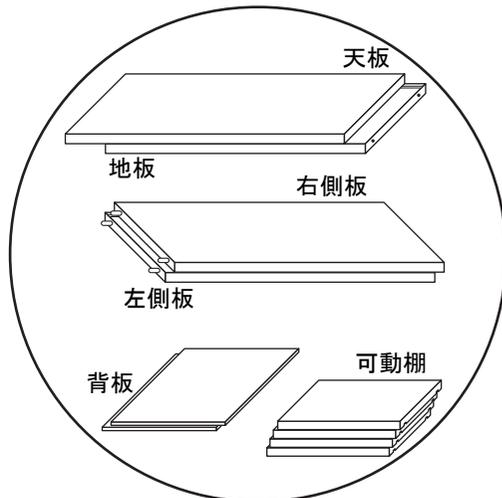
同じ部材ごとに並べておくと間違いが少なくなります。
(例：引出用、本体用など)

※記載している部材は参考例になります。
全ての商品にあてはまりませんのでご注意ください。

引出用の部材 (例)



本体用の部材 (例)

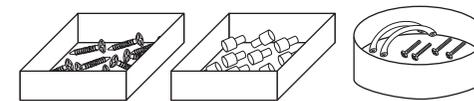


ポイント3

 部品を確認、分けてください。

※記載している部品は参考例になります。
全ての商品にあてはまりませんのでご注意ください。

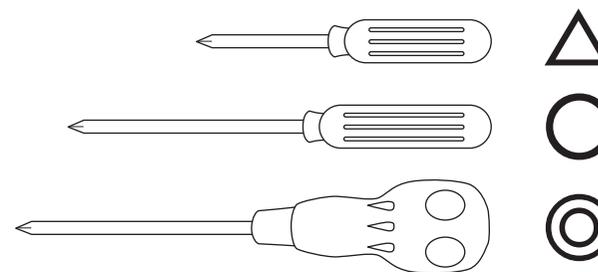
ネジやダボなど紛失しないように小箱などに入れておくと便利です。



ポイント4

 ドライバーを用意してください。

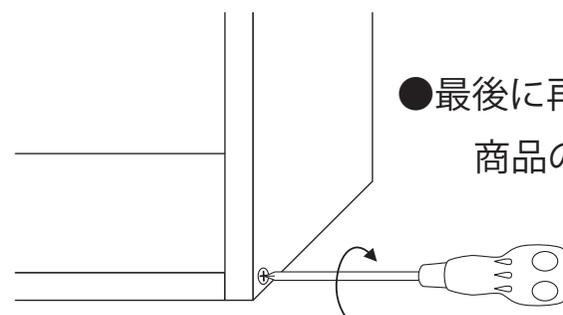
握り手の太いドライバーの方が力を入れやすくネジの締め付けなどスムーズです。



ポイント5

 ●床や商品にキズがつかないように、やわらかい布等を敷いて作業を始めてください。

- 木槌、ゴムハンマーなどを使用する場合は、あて板などをあてがい、商品にキズがつかないようにその上からたたってください。



- 最後に再度ネジを締めなおしてください。
商品のゆがみや揺れの防止になります。